

|           |                           |           |         |         |         |
|-----------|---------------------------|-----------|---------|---------|---------|
| 国語<br>一一一 | 第一学年及び第二学年の内容<br>いろいろな言葉① | 名前<br>なまえ | 年<br>ねん | 組<br>ぐみ | 番<br>ばん |
|-----------|---------------------------|-----------|---------|---------|---------|

つぎの文の（ぶん）にあてはまること  
ばを、あとの（）からえらび、かきまし  
よう。

① 雨あめが（しとしと）とふりはじめた。

② 日にちよう日は、びとても（のんびり）とすずぐ  
すことができた。

③ はさみの先さきは、（とがとがって）いるので、人ひと  
にむけるとあぶない。

④ （ででいいぼぼい）の道みちをあるく。

でいぼこ とがって のんびり  
しとしと

つぎの文の（ ）にあてはまることば  
を、あとの [ ] からえらび、かきましよう。

① はなちゃんは、とても（がまん強い）ので、  
なかなかかった。

② かれは、だれにでも（やさしい）。

③ 野きゅうのれんしゅうにいつも（まじめに）  
とり組んでいる。

④ かれは、（元気な）だけに、よくあそぶ。

がまん強い

まじめに

やさしい

元気な

つぎの文の（ ）に当てはまることば

を、あとの

からえらび、書きましょう。

① お母さんがむかえに来てくれたので、  
(あんしん) した。

② 大きく元気なあいさつに (かんしん) した。

③ おおぜいの人の前で話すのは、とても  
(きんちよう) する。

④ 明日は、遠足なので (たのしみ) だ。

きんちよう      たのしみ      かんしん  
あんしん

名前 なまえ

年 ねん

組 ぐみ

番 ばん

取り組んだ日

月

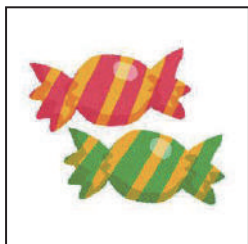
日

つぎのことばでつよくいうぶぶんを線で囲みましよう。

①



あめ



あめ

②

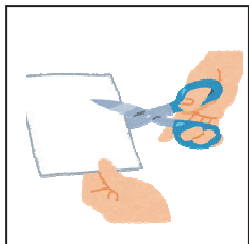


はし



はし

③

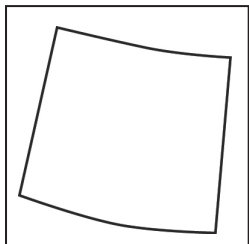


きる

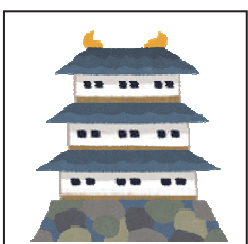


きる

④



しろ



しろ

つぎの文の ぶん \_\_\_\_\_ とはんたいのいみのことば

が ( はい ) に入ります。あてはまることばを、  
あとの  からえらび、 ( ) にかき  
ましょう。

① このノートは、たてよりも ( よこ ) のほう  
が長い。 なが

② つくえは大きい おお が、いすは ( ちい 小さい )。

③ このようふくの外 そと がわは、じみだが、 ( うち 内 )  
がわは、はです。

④ この教室の上 うへ は音楽室で、 ( した 下 ) は ざこうしつ 図書室だ。

下 した

よこ

内 うち

小さい ちい

国語  
六一一

第一学年及び第二学年  
なかまの言葉

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

ことば  
つぎの言葉のグループに入る言葉を、あとの  
はい ことば

からえらび、その言葉を線でかこみ  
ことば せん  
ましよう。

くだもの

りんご

じゃがいも

ガム

ねこ

キヤベツ

からす

パイナップル

なす

バナナ

チョコレート

メロン

ねぎ

みかん

キヤラメル

あひる

名前

年

組

番

取り組んだ日  
月 日

え ことば  
つぎの絵にあう言葉になるように、しかくの中  
にひらがなをかきましょう。

①



お

と

う

さ

ん

②



お

か

あ

さ

ん

③



お

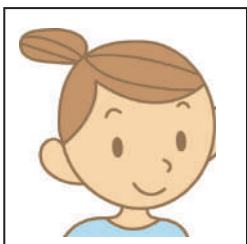
に

い

さ

ん

④



お

ね

え

さ

ん

名前

年

組

番

取り組んだ日

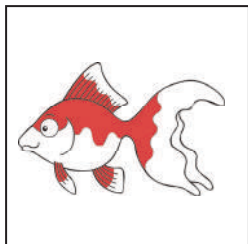
月

日

え ことば しかく なか  
つぎの絵にあう言葉になるように、四角の中に

か  
ひらがなを書きましょう。

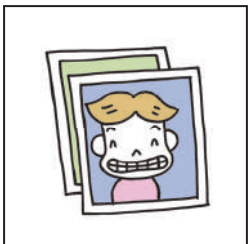
①



きんぎょ

よ

②



しん

や

③



きゅうし

ゆ

ゆ

や

④



びょういん

よ



名前

年

組

番

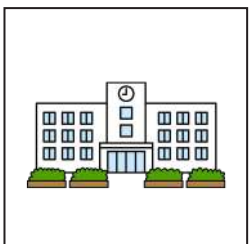
取り組んだ日

月

日

つぎの絵えにあう言葉になるように、しかくの中なかにひらがなをかきましょう。

①

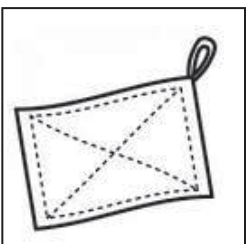


が



こう

②



ぞうき



③



は



ば

④



え



び

っ

つぎの文の<sup>ぶん</sup>□に、「わ」と「は」のどちらかをかきましよう。

①

わ

たあめをたべる。

②

よしのさん

は

足が<sup>あし</sup>はや

い。

③

わ

にが、かわに<sup>はい</sup>入った。

④

そら

は

、<sup>あお</sup>青い。

|          |                        |           |         |         |
|----------|------------------------|-----------|---------|---------|
| 国語<br>十一 | 第一学年及び第二学年の内容<br>まる(。) |           |         |         |
|          |                        | 名前<br>なまえ | 年<br>ねん | 組<br>ぐみ |
|          |                        |           |         | 番<br>ばん |

とく  
り  
組  
んだ  
日  
月  
日

ぶんしょう

つぎの文章は、まる(。)(。をうっていません。

ただ ばしよ

正しい場所にまる(。)(。をうちましよう。

にのみやそんとく

ひと し

二宮尊徳という人を知っていますか。

にのみやそんとく

ひと むら

二宮尊徳は、たくさんの人や村をたす

ひと

な にのみやきんじろう

けた人です。またの名を二宮金次郎とも

きんじろう

がっこう

いいました。金次郎のぞうが、学校にあ

ひと

るといふ人もいるでしよう。

|            |                        |           |         |         |         |
|------------|------------------------|-----------|---------|---------|---------|
| 国語<br>十二—一 | 第一学年及び第二学年の内容<br>てん(一) | 名前<br>なまえ | 年<br>ねん | 組<br>ぐみ | 番<br>ばん |
|------------|------------------------|-----------|---------|---------|---------|

取り組んだ日  
月 日

ぶんしょう

つぎの文章は、てん(一)をうっていません。

ただ ばしよ

正しい場所にてん(一)をうちましよう。

そうげん

草原にねころんだ賢治は、夜空の星をな

けんじ

よぞら

ほし

がめました。

ざ

こと座、わし座、白鳥座。

ざ

はくちようざ

たの

せいざ

楽しい星座のせかいが、賢治の心に広

けんじ

こころ

ひろ

がりました。

|            |                            |           |         |         |
|------------|----------------------------|-----------|---------|---------|
| 国語<br>十三—一 | 第一学年及び第二学年の内容<br>かぎ(一) (二) |           |         |         |
|            |                            | 名前<br>なまえ | 年<br>ねん | 組<br>ぐみ |
|            |                            |           |         | 番<br>ばん |

とく  
取り組んだ日  
月 日

ぶんしょう  
つぎの文章は、かぎ(「(」をつかっ  
てい  
ません。正しい場所にかぎ(「(」をかきまし  
よう。

はなし  
てづかおさむ  
ちい

このお話は、手塚治の小さいころので  
きごとです。

かあ  
あたま

「お母さん、頭がいたいよ。」

「だいじょうぶ、きつとよくなるからね。」

かあ  
おさむ

お母さんは治のまくらもとで、やさし

こえ

く声をかけました。

つぎの文ぶんを読み、述語じゆつごに線せんをひきましよう。

①すすむくんが、かけていきました。

②はなごさんは、山やまの上うえにすんでいます。

③あたらしいようふくが、とどきました。

④小鳥ことりは、はばたきました。

⑤五年生ごねんせいのあねが、とても早くはやおきました。

|            |                           |           |         |         |         |
|------------|---------------------------|-----------|---------|---------|---------|
| 国語<br>十五—一 | 第一学年及び第二学年の内容<br>「です」「ます」 | 名前<br>なまえ | 年<br>ねん | 組<br>ぐみ | 番<br>ばん |
|------------|---------------------------|-----------|---------|---------|---------|

取り組んだ日  
月 日

つぎの文ぶんししょうを「です」「ます」「でした」「ま  
した」でおわる文ぶんししょうにかきなおしましょう。  
かきなおしたいところところに——をひき、そのよこ  
にかきなおしたことばをかきましよう。

つりました。

【れい】 さかな 魚をわわた。

いました。

あるところに、おじいさんとおばあさんがいた。

しまっていましました。

ふたりはたいそうしまっていた。それというのも

まん月のばんに、いつもおにたちがわるさをしに

くるからです。

くるからだ。